

令和元年度における各構成団体の取組状況

機関名	取組状況
認定NPO法人 びわこ豊穡の郷	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回 赤野井湾ウォッチャー活動 ・8/11(日) オオバナミズキンバイ除去活動(守山市芦刈園) ・3/14(土) 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦
玉津小津漁業協同組合	<p>赤野井湾の外来水生植物根絶を目指して7年目となり、今年度も見つけたら取るを目標として巡回監視作業に従事し延べ170日間、駆除作業を実施しました。達成感はあるものの、ヨシ帯の中などに繁茂していますので、来期も作業に従事して根絶を目指します。</p>
赤野井湾再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・赤野井湾ウォッチャー活動(毎月) ・琵琶湖湖底ごみ除去活動(6月23日(日)) ・水質調査(5月・8月) ・市内学区民の集い等での啓発活動 ・環境フォーラムでの啓発活動(11月) ・うみごみ調査隊(7月15日(月)) ・連絡会(4月・7月・9月・11月・2月)
近江ウェットランド研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、琵琶湖本湖や内湖のみならず、広く県内平野部各地の内水面を対象に、外来水辺植物の生育状況調査を展開し、その調査結果を随時、県担当部局や関係機関に伝達した。 ・特に重点的な調査を実施した高島市針江～深溝地区のヨシ植栽地については、夏期にウスゲオオバナミズキンバイの生育状況図を作成して、9月のIVUSAの駆除作業の基礎資料として活用してもらうとともに、駆除作業当日には、県の担当者ととも現況調査や駆除作業の効率的な進め方について、実地指導を行なった。 ・多くの稀少植物が生育する舞子沼(大津市近江舞子)への流入水路において、近年県内での生育情報が増加しているアマゾンチカガミの繁茂が認められたため、地元自治会や県担当部局に呼びかけて、合同で緊急駆除作業を実施した。 ・ここ数年、継続してきた竹生島東岸のナガエツルノゲイトウの駆除作業を、多くの関係団体に呼びかけて、12月10日に実施した(環境省近畿地方環境事務所・滋賀県自然環境保全課・長浜市役所等、多くの機関や団体が参加)。 ・12月14日に開催された日本植物分類学会講演会で、本会会員：稗田真也(滋賀県立大学大学院)が「琵琶湖における特定外来生物オオバナミズキンバイの分類・生活史・管理について」と題する講演を行なった。
NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)	<ul style="list-style-type: none"> ●除去活動 <ul style="list-style-type: none"> ・瀬田川オオバナミズキンバイ船上視察(8月5日(月)) ・守山市芦刈園オオバナミズキンバイ除去活動(8月11日(日)) ・瀬田川オオバナミズキンバイ除去活動(8月20日(火)) ・京都府鴨川オオバナミズキンバイ除去活動(8月25日(日)) ・琵琶湖外来水生植物除去大作戦2019(9月6日(金)～9月8日(日)) ・守山市芦刈園オオバナミズキンバイ除去活動(12月14日(土)) ・守山市びわこ地球市民の森オオバナミズキンバイ除去活動(2月27日(木)実施予定) ●啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・マザーレイクフォーラム びわこ会議(8月31日(土)) ・フローティングスクール学習会(9月26日(木)) ・第12回いい川・いい川作りワークショップin滋賀・京都(10月5日(土)～10月6日(日)) ・第19回草津市こども環境会議(2月2日(日)) ・第32回地球研地域連携セミナー(2月8日(土))
公立大学法人 滋賀県立大学 環境科学部	<p>大学の特別研究費を活用して「湖沼周辺における水陸両生外来水生植物管理」に関する研究を行った。</p> <p>その一環として、8月26日(月)に琵琶湖博物館にて「水陸両生の侵略的外来植物の管理に関するワークショップ」を開催した。さらに、3月26日(木)にイギリスからの専門家を交えたワークショップを開催する予定である(場所は大阪市立自然史博物館の予定)。</p>
瀬田町漁業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・外来水生植物の監視と駆除を実施 ・4月から1月の間に水産多面的事業にて、8回駆除を実施し、オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ、ミズヒマワリを12t駆除した。 ・葦や立木があるところは刈り取って駆除した。 ・今後も手を緩めることなく駆除を継続する必要がある。

令和元年度における各構成団体の取組状況

機関名	取組状況
大津市	<ul style="list-style-type: none"> ・ オオバナミズキンバイ除去作業に係る処理手数料の負担 5月～2月搬入分 瀬田川流域クリーン作戦 約20 t ・ 上記に伴う廃棄物焼却処理施設への受入れ 環境美化センター 大田廃棄物最終処分場 北部クリーンセンター
彦根市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 彦根市中藪町水路 生活環境課職員によるオオカワヂシャ駆除 ・ 11月 「平田川クリーン大作戦」(有志団体が主となり実施) ・ 3月 市内水路 生活環境課職員によるオオカワヂシャ駆除
長浜市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹生島のナガエツルノゲイトウ駆除作業の補助および駆除個体の処分 ・ 農業振興課による農業用排水路付近のナガエツルノゲイトウの駆除
近江八幡市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市広報紙において啓発を実施
草津市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来水生植物拡散防止についての啓発(市広報、HP、イベント開催時におけるパネル展示) ・ オオバナミズキンバイの監視パトロールの実施 ・ 繁茂したオオバナミズキンバイの除去活動
守山市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月23日(日) 赤野井湾再生プロジェクト オオバナミズキンバイ除去活動 ・ 8月23日(金) 市内河川にてオオバナミズキンバイ除去活動実施 場所: 金森町(案内川) 参加: 市、県、守山中学校 除去量: 軽トラ1台分
野洲市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県との共同で、野洲市安治地先(琵琶湖畔)における外来水生植物駆除及び処分(手数料は公共免除)の実施 ・ 前年度駆除箇所(須原地先)の再生防止監視
高島市	<ul style="list-style-type: none"> ・ IVUSA主催「琵琶湖外来水生植物除去大作戦2019」の後援および駆除物の高島市環境センターへの受け入れ、運搬 ・ 市民等への広報(広報たかしま10月号、facebook)
東近江市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊庭の里湖(さとうみ)づくり協議会による伊庭内湖でのナガエツルノゲイトウ駆除作業を7回実施(駆除量 533kg(湿重量)) ・ 農地におけるナガエツルノゲイトウの侵入への対応 東近江市農業農村振興事務所等と連携して、8月と10月に東近江市栗見出在家町地先の農地に侵入したナガエツルノゲイトウの除去作業を実施
米原市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市広報誌を通じて、外来水生植物の拡散防止を市民に啓発した ・ 県事業の蓮池農村公園での外来水生植物除去物の廃棄への協力
滋賀県 琵琶湖保全再生課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水草等対策技術開発支援事業
滋賀県 下水道課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化センター(下水処理場)において日々発生している下水汚泥の有効利用(嫌気性メタン発酵など)に併せて、地域のバイオマスを混合処理することで、エネルギーの創出と未利用バイオマスの活用に役立てることができないか検討している。 ・ 今年度は、基礎調査として地域のバイオマスとしての水草や食品廃棄物等の他に、外来水生植物についても賦存量等の情報収集・課題整理。来年度以降、混合発酵実験等を進める。
滋賀県 水産課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助事業(滋賀県水産多面的機能発揮対策事業)において、漁業者を中心とする活動組織(瀬田町漁協、山田漁協、志那漁協、玉津小津漁協、守山漁協、堅田漁協、漁連青壮年会)がオオバナミズキンバイ等の駆除を実施
滋賀県 流域政策局 河川・港湾室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県管理河川内で外来水生植物が繁茂していないか、各土木事務所による河川堤防点検時等において巡視

令和元年度における各構成団体の取組状況

機関名	取組状況
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ オオバナミズキンバイの繁茂が希少沈水植物の生育環境と成長に与える影響評価 ・ 外来植物の文献調査、およびナガエツルノゲイトウの県内初出記録の整理と情報共有
環境省 近畿地方環境事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北湖において事業を実施。生息箇所の拡大がみられたため、追加で緊急防除を実施。生息拡大箇所については小群落であり、緊急防除で概ね除去 ・ 高島市新旭町のヨシ植栽地、長浜市早崎町のワンドにおいては防除困難地であり課題となっている
国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀬田川流域クリーン作戦によるオオバナ駆除活動、仮置き場の提供等の支援 ・ IVUSAと職員による川の生態系を守る学習会の実施と瀬田川でのオオバナ駆除活動の実施
(独)水資源機構 琵琶湖開発総合管理所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月1日(火) 水資源機構の管理地である新浜ビオトープでのオオバナミズキンバイ駆除活動 駆除面積：約60㎡
京都市上下水道局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2疎水取水口付近において、オオバナミズキンバイ等の駆除作業を実施（令和2年1月～3月）
滋賀県 自然環境保全課	<p>①侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業</p> <p>■侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模群落に対する機械駆除事業の継続 ・ 小規模群落等、機械駆除が困難な群落に対する人力駆除 ・ 駆除済みエリアにおける、再生・回復状況監視と早期駆除の実施 <p>■生物多様性保全回復整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 琵琶湖国定公園に含まれない内湖および流入河川における駆除、巡回監視の実施 <p>②生物多用性しが戦略的展開事業</p> <p>■外来水生植物の駆除作業の実演等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「瀬田川流域クリーン作戦」での駆除デモ（7/21(日)） ・ 高島市新旭町饗庭の樋門での駆除デモ（12/15(日)） <p>③外来生物防除対策事業</p> <p>■外来生物に関する普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア駆除活動に必要なゴム手袋、駆除ネット等の購入 <p>④農地における外来水生植物侵入への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東近江市や高島市の農地にて侵入が確認されたため、県や市の農業部局等と情報共有し、緊急の駆除作業を実施するとともに、再生を防ぐための監視を継続。 <p>■多様な主体による駆除活動への支援・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/12(日)、6/8(土)、7/21(日)、9/21(土)、10/6(日)、11/24(日)、12/14(土) 瀬田町漁業協同組合等から構成される「瀬田川流域クリーン作戦」の駆除作業への参加 ・ 6/23(日) 赤野井湾再生プロジェクトによる駆除作業への参加 ・ 7/2(火) 辻調理師専門学校による駆除活動への支援・参加 ・ 8/23(金) 守山中学校の学生による駆除活動への支援・参加 ・ 8/25(日) 鴨川での駆除活動への協力・職員の派遣 ・ 9/6(金)～9/8(日) NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)による「琵琶湖外来水生植物除去大作戦2019」への支援・参加 ・ 11/21(木) びわこ地球市民の森での駆除活動への支援・参加 ・ 12/10(月) 近江ウェットランド研究会による長浜市竹生島における調査および駆除作業への参加 ・ 12/14(土) NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)等による守山市芦刈園における駆除活動への参加 ・ 2/27(木)(予定) びわこ地球市民の森での駆除活動への支援・参加 ・ 3/14(日)(予定) 認定NPO法人びわこ豊穡の郷による駆除活動への参加 <p>⑤水草等対策技術開発支援事業（琵琶湖保全再生課・自然環境保全課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者へ試験研究資料として駆除した外来水生植物を提供